



SAF Newsletter vol. 7

SAF 日本事務局 〒163-1304 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー4F TEL:03-5321-6222 <http://www.studyabroadfoundation.org/japan>



🇬🇧 伝統ある英国の大学へ留学する! 🇬🇧 英国的Student Lifeを紹介します!

英国の教育は、伝統を重んじつつも革新的な試みをつめられないとされています。常時 25 万人の留学生を受け入れているイギリスは、その地理的な理由と教育の伝統から、ヨーロッパや中近東、アジアなどの留学生を多く魅了してやみません。今回のニュースレターではそんなイギリス留学の魅力をお伝えします!

イギリスは物価が高いなどと言われることが多いですが、本当なのでしょうか?ここでは、現地の物価&食事情をご紹介します!

【イギリス vs アメリカの教育制度】

イギリス	アメリカ
学部: 3年間	学部: 4年間
修士課程: 1年間	修士課程: 2年間

イギリスの大学生は入学前の16~18歳の2年間で自分の専門に関する基礎的な勉強をしているため、学部3年間で一般教養課程は設けず、専門課程から勉強を始めます。

【イギリス vs アメリカのアカデミックカレンダー】

イギリスの新学期は9月から始まるため、英語に不安がある人でも、日本の夏休み(7月~8月)に英語を集中的に勉強して、英語の生活に慣れてから学部履修をすることができます。

イギリス	アメリカ
オリエンテーション: 9月中~下旬	オリエンテーション: 8月中~下旬
秋学期: 9月下旬/10月~12月	秋学期: 8月下旬~12月
春学期: 1月上旬~6月下旬	春学期: 1月上旬~5月中旬

🇬🇧 小人数制を重んじる英国教育 🇬🇧

英国の大学教育はきめ細かな指導が特徴で、一般的に講義型の授業を多く取り入れているアメリカ型の教育とは異なります。

- セミナー...8~16人の小人数制の授業でディスカッションなどを中心に進めます。
- チュートリアル...1~3名を対象にした個別指導で、教授と対面しながら意見交換やエッセイの議題についての相談などをします。

講義を組み合わせながら上記のような授業がある他、グループワーク、試験、エッセイ提出などを進めていきます。

🇬🇧 英国留学の人気専攻科目 🇬🇧

ビジネス、国際関係、政治学、環境学、開発学、戦争研究、アメリカ研究、ヨーロッパ研究、建築学、建築デザイン、都市開発学、ハーブ薬学、観光学、パフォーマンスアート、演劇、映画学、デザイン、メディア学、評論、ジャーナリズム

【留学中の食事情】

イギリスの大学寮は、食事付きの大学寮が多いアメリカと異なり、自炊が基本です。寮のタイプや大きさにより異なりますが、フロアごとにキッチンがあり、同じフロアに住む学生と共同利用します。キッチンには備え付けのレンジやトースター、コンロ、湯沸かしポットなどがある場合が多く、学生は自分の調理器具やお皿などを用意する必要があります。調理器具は安いものを現地で調達するか、卒業して帰国する学生から安く買い取ることができます。



商品/サービス	値段£	値段¥ (1£=¥150)
牛乳 568ml	£0.40	¥60
卵 6個入り	£1.45	¥217
コーラ 330ml	£0.60	¥90
パン 一斤	£0.75	¥113
バナナ 1kg	£0.71	¥107
牛挽肉 400g	£2.38	¥357
バター 250g	£1.22	¥183
コーヒー1杯	£1.00-£1.25	¥225-¥375
サンドウィッチ(コンビニ)	£1.50-£2.50	¥183-¥300
映画(学生割引)	£5.00-8.00	¥750-¥1,200

*物価と為替レートは変動しますので、あくまで参考料金です。

【学生 VISA で働く経験をしてみよう!】

6か月以上英国に滞在し、学生 VISA(査証)を持っている学生は、英国国内でアルバイトをすることができます。

- 週 20 時間まで、長期休暇中はフルタイムで働くことができます
- 平均時給: £5.00=¥750 (1£=¥150 の場合)

アルバイトのために履歴書(CV)やカバーレターを英語で作成する経験も英国留学中の良い経験の1つですね。

Q: 駒澤大学のグローバル・メディア・スタディーズ学部に入學したきっかけを教えてください。

駒澤大学 GMS 学部に入學を希望した理由は、自分は国内だけではなく国外にも目を向けていきたいという気持ちがあったからです。国際経験豊かな教授やネイティブな講師が多く英語で行う授業が多いという点で魅力を感じました。

また、GMS 学部は留學を推奨していて、海外演習実践講座として、短期留學、長期留學、海外ボランティアをした学生は報告書を書けば単位として認定してくれます。休学せずに留學でき、海外での勉強が認められるのが良いと思いました。

Q: 留學しようと思ったきっかけを教えてください。

高校1年次に学内で語学研修生を募集していたのでカナダへ3週間語学留學しました。カナダでの3週間は私にとって貴重な体験になり、この語学留學を機に大学生になったら長期の留學をしたいと思うようになりました。また、中学校時代の友達に海外経験の豊富な子が多かったのも1つの理由です。彼らの話を聞く度にうらやましく自分も海外で勉強してみたいと考えていました。

Q: 留學先でチャレンジしたいことは何ですか？どんな留學生活を送りたいですか？

自分から積極的に声をかけて友達を作り、日常の会話に慣れたいです。留學の後半から学部留學できるように TOEFL のスコアを上げたいです。せっかく異国の地に滞在するからには多くの体験や挑戦をしたいと思います。

Q: 留學準備はいつ頃どのように始めましたか？

GMS 学部に入學を志望した頃から、GMS 学部の制度を利用して大学生活の中で1年間位は留學しよう決めていました。大学1

年生という時期は必修科目も多かったし卒業に計画的に必要な単位を取得してしまおうと思っていました。この頃は留學についてインターネットを使いとりあえず自分なりに資料集めをしていましたが、2年生になってからは予算や時期、どこの国にするかを具体的に調べ始めました。TOEFL もこの時期から知ることになり夏休みに初めて受験しました。そして後期の授業が始まる頃には国際センターの留學相談を通じて、SAF 認定校留學ができることを知りました。その後、キャンパス内で行われる説明会や個別相談を通して SAF の方に相談にのっていただき自分の英語レベルや予算、時期などから、ユタ大学(第一志望)、コロラド州立大学(第二志望)、モンタナ大学(第三希望)としました。

Q: 合格を待っている今の気持ちを教えてください。

第一志望の大学に受かっているかとても気になります。どのような結果になるか分からなくて不安な気持ちもありますが待ち遠しいです。また、ユタ大学で学部の授業を取るためにも、現地に行って TOEFL の勉強を引き続き頑張らなくちゃ！という気持ちも大きいです。何と言っても、念願の留學へ一歩踏み出しているという嬉しさは大きいです。

Q: 最後に、留學したいと思っている他の学生に一言お願いします。
留學をして現地の授業に参加するためには、TOEFL のスコアは必要不可欠です。出願できる大学もやはり、TOEFL のスコアに左右されてくるので、TOEFL は早い時期から対策して受験したほうが良いと思います。私は、SAF のカウンセラーさんから TOEFL の勉強法や書籍を紹介していただき、勉強をしていました。大学選びだけでなく、様々なアドバイスは大変役に立つと思います。

大学の留學制度を最大限に活用して留學する。
留學をするのは、大学生になる前からの夢だから。



駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部2年生 川村 陽奈子さん
留學先：University of Utah ユタ大学 2009年3月～12月「英語力強化コース」